

科目担当者氏名 (ふりがな) おくのたくじ 奥野卓司		科目担当者連絡先 (メールアドレス)
連絡責任者氏名 (ふりがな) みうら こうきちろう 三浦 耕吉郎		科目設置機関名 関西学院大学社会学部
授業科目名 社会調査実習 I	科目認定番号 KSGa-080702-0	受講者数 18名

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：本実習では、面接法、観察法を中心にした従来の質的調査を、コンピュータ、インターネットを駆使して行うための基本を、実際に体験させ学ばせることを目的とする。学生が、インターネットの各種検索エンジンを使って、その検索傾向の違いを学ぶことからはじめ、オンラインでのグローバルな規模での先行研究・文献検索方法、各種データベースの利用方法、調査用のホームページの作成、調査対象者とのメーリングリスト、ブログでの参与観察方法、およびデジタル写真、デジタル録音、ビデオ撮影などの記録・解析の映像人類学的調査方法を、各自で体験し、与えられた課題に関してレポートを提出する。

II. 調査の企画・設計 (デザイン)

1. 調査のテーマ/領域：情報メディア産業
2. 調査の内容/概要：上記を対象とする質的調査
3. 調査の範囲/対象 (量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：情報メディア産業の商品企画・調査部門や調査会社、アンテナショップ (エスケイジャパン、システムD、(株)パトリア、博報堂大阪支社、コニカミノルタ・イメージング文化研究所、日産自動車(株)総合研究所、CDIなど)
4. 主な調査項目：各社の情報メディア、コンテンツと、その商品化のためのビジネス戦略

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集 (現地調査) の方法：各社を訪問しインタビューしたり、そこで実際に働いて参与観察させていた。
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：1年間をつうじて、クラス全員。
7. 収集したデータの量と質への評価 (量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)：高度である。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：各自が自分のフィールドノートをインターネットのブログに作成する。このローデータについて、コンピュータのハイパーカードを使っての変形KJ法による質的分析・解説を行わせる。また、映像 (静止画、動画)、音声情報を含め個人データベース化させて、それらを編集、解説する。
9. 調査の成果 (調査から得られた主な知見など)：各社の情報コンテンツとそのビジネスモデルが、ユーザーを巻き込む形でつくられており、インターネットの新たな時代に入っていることを、学生が実感した。
10. 報告書刊行の予定と概要：各自で2009年3月までに調査報告書をまとめ、全員および調査対象者にネット上で配布した。また、そのうち2編を選んで、研究室の研究成果集に掲載した。

- <記入上の注意点>
1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。
 2. 最上部の*印の箇所には数字を(*/*)には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3とご記入下さい。
 3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。
 4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。